

守り継がれている伝統行事 高浜のとんど



1月14日の夜、高浜でとんど(市指定無形民俗文化財)が行われました。当日は、午後6時30分、前もって準備された大小のとんどに、とんど頭である区長が火をつけるととんどが燃え上がり、注連飾りなどの正月に飾ったものや普段捨てにくいお札なども一緒に投じていました。

昔から、とんどは、一年の無病息災や家内安全を祈って行うもので、この火にあたりとサカシイ(健康)として、手をあてたり、背中を向け火にあたりと風邪をひかないとか、さらに燃え盛った火の中から、松の枝を持ち帰り、家の門口にたてて魔除けにするなど様々な言い伝えが残っています。

高浜地区でも、とんどは火を神聖視する信仰で、年のはじめの大切な行事として長く守り継がれています。

ドローンを活用して建物を点検



1月18日、千怒市営アパートの外壁・屋上点検をドローンによる空撮を用いて実施しました。

ドローンを活用することで、目視では見つけることが難しい不良の発見や安全性の向上、作業時間の短縮等が期待されています。

近藤俊彦さん、自身の著書を寄贈



1月13日、近藤俊彦さんより、自身の著書「漢詩雑話 読む、詠(えい)ず、語る」(海鳥社)3冊を市に寄贈いただきました。

本書は市民図書館で貸りることができます。

津久見市消防団出初式



1月9日、つくみん公園で「令和3年津久見市消防団出初式」が行われました。今年は感染症対策のため、出席する団員を絞り、式のプロプログラムを縮小しての開催となりましたが、今年も安心・安全なまちを目指して誓いを新たにしました。

津久見市固定資産評価審査委員会委員

さとう ちえこ
佐藤 智恵子 さん



12月議会において、津久見市固定資産評価審査委員会委員に佐藤智恵子さんが選任されました。佐藤さんは3年の任期の間、固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服についての審査決定などを行います。

100歳のお祝い 木下義光さん (大正10年1月17日生まれ)



木下義光さんが100歳の誕生日を迎えられました。木下さんは、絵を描くことが得意でよく市内の病院に絵を飾られていたそうです。木下さんの長寿の秘訣は、体に気を付けることと煙草を吸わないこと。毎日お元気で長生きされることをお祈りしています。

100歳のお祝い 岩崎朝雄さん (大正10年1月2日生まれ)



岩崎朝雄さんが100歳を迎えられました。カラオケが好きな岩崎さん。若い頃は、戦争で海外に行き大変な苦労があったそうです。お祝いでは、「皆さんのおかげでこの年を迎えられた」と話されました。これからも変わらずお元気で過ごされることを祈っています。